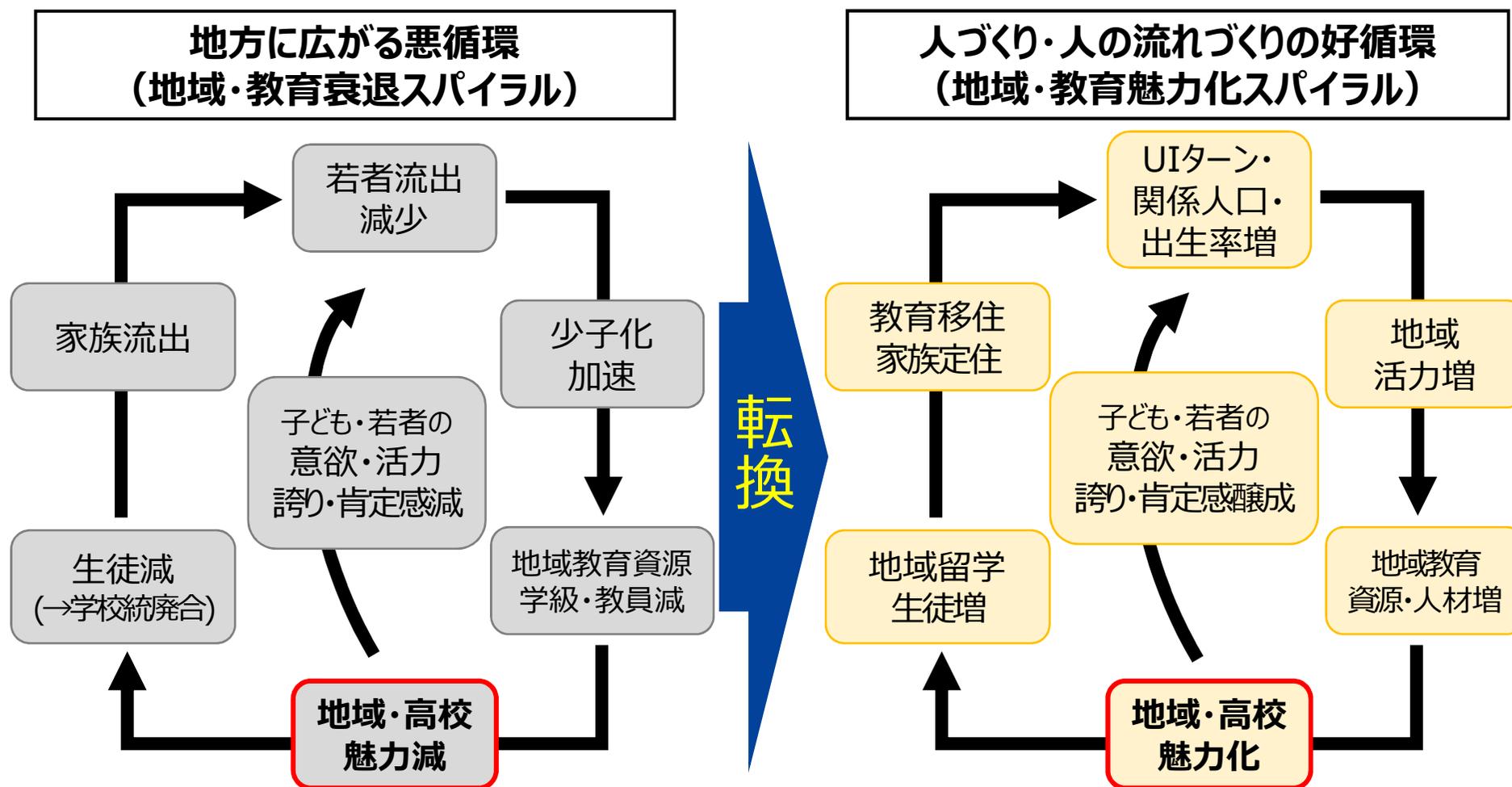


高校魅力化による地方創生の必要性

人口減少社会を切り拓き、持続可能な地方創生を実行するためには、**地方に広がる悪循環を、新たな人づくり・人の流れ（関係人口）づくりの好循環への転換が必要**。
特に、地域からの人材流出の出口となっている、**高校の魅力化**が重要。



高校魅力化による地方創生 ～地域の次代を創る「人材」「組織」及び「関係人口」の育成～

人づくり・人の流れ（関係人口）づくりの持続可能な好循環を生み出すためには、**地域内外の人や資源をつなぐ人材（コーディネーター）とその基盤となる協働組織（コンソーシアム）、及び全国をつなぐ中間支援組織（全国コミュニティ）の育成・活用に係る取組をパッケージで促進する必要がある。**

【国として検討・実施すべき内容】

1. 地域内外の人や資源をつなぐ人材（コーディネーター）の育成・活用

- ・大学等によるコーディネーター育成プログラム（リカレント教育）の開発・支援
- ・コーディネーターの導入・配置に活用できる財源や制度の検討
- ※その他の内容は2月26日の本検討会にて提案したため割愛

2. 学校と地域の協働組織（コンソーシアム）の構築・育成

- ・地方創生推進交付金やふるさと納税（企業版を含む）等を活用した構築・育成の支援
- ・当該組織への公務員（市町村職員や都道府県職員等）の参画・出向・副業等の促進
- ・コミュニティ・スクール（協議機能）と地域学校協働本部（実行機能）を強化し、両機能を併せ持つような協働組織（地域運営組織？）の具体的な検討とモデル構築
- ※法人化にあたっては地域再生推進法人等の活用や寄付に係る優遇措置等も検討。

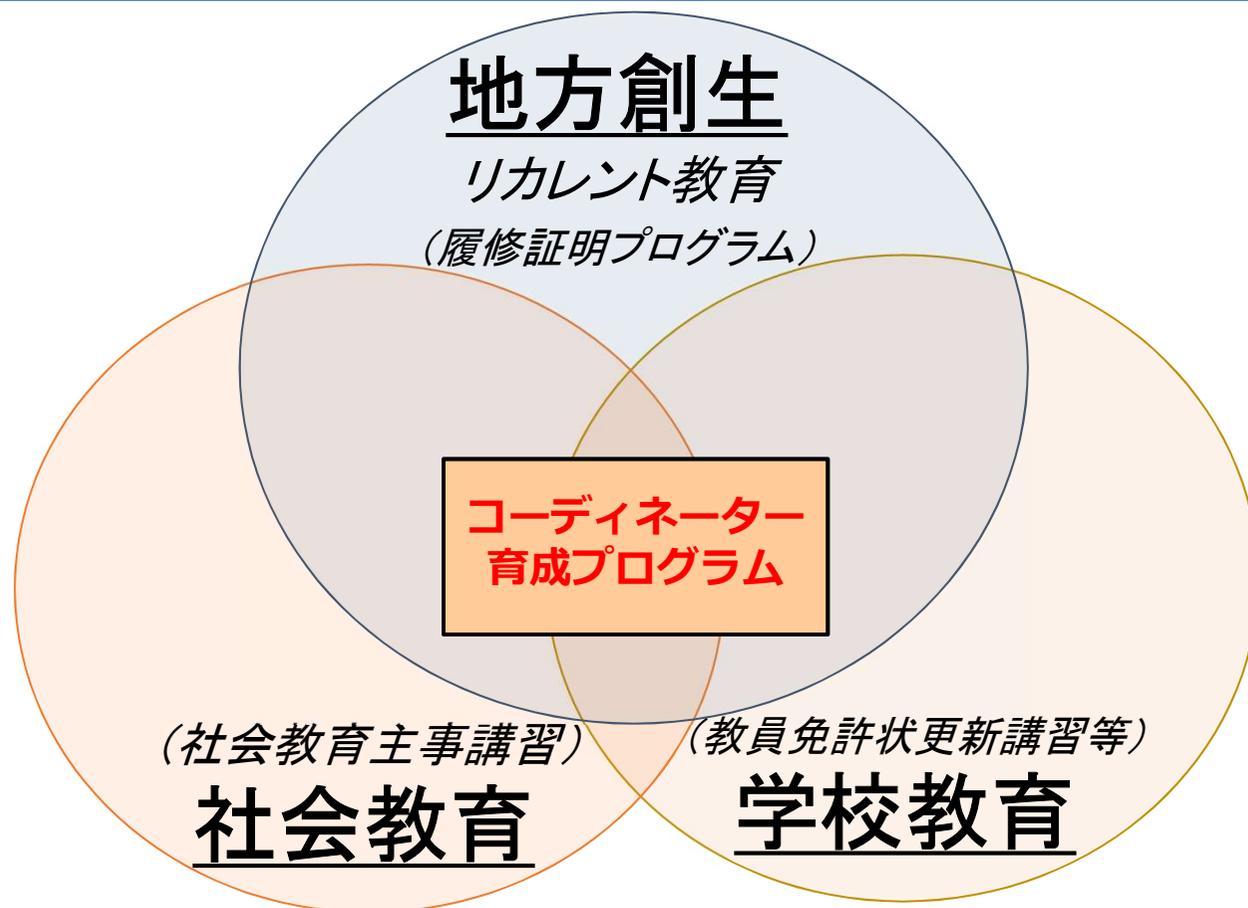
3. 全国をつなぐ中間支援組織（全国コミュニティ）の育成・活用

- ・地方創生推進交付金やふるさと納税（企業版を含む）等を活用した育成の支援
- ・当該組織への公務員（都道府県職員や国家公務員等）の参画・出向・副業等の促進
- ※その他の内容は2月26日の本検討会にて提案したため割愛

【国として検討・実施すべき内容1】 大学等によるコーディネーターの育成プログラムの開発・支援

コーディネーター育成プログラム（イメージ）

- 目的・・・学校と地域をつなぎ、次代の人づくり・人の流れづくり・地域づくりを推進するための資質能力を育成する。
- 対象・・・コーディネーター（高校魅力化コーディネーター、地域協働活動推進員等）、社会教育機関・地域づくり団体・民間企業・NPO等職員、公務員（市町村職員、県立高校事務職員等）、教員（地域連携担当教員等）など

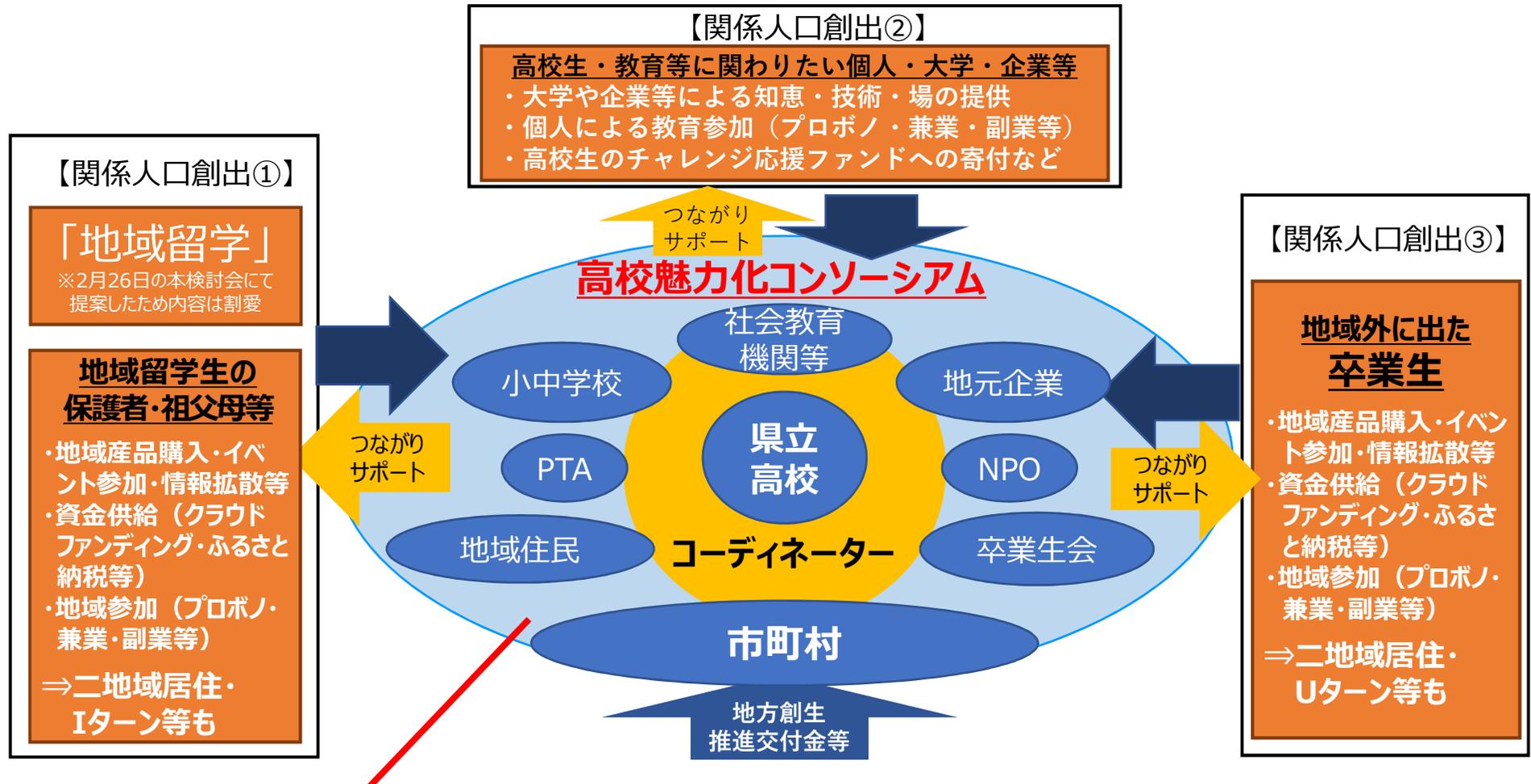


※職業実践力育成プログラム（BP）・専門実践教育訓練指定講座として、一般教育訓練給付金/専門実践教育訓練給付金やキャリア形成促進助成金/キャリアアップ助成金を活用できるようにするとともに、社会教育主事講習（社会教育経営論、生涯学習支援論、社会教育演習）及び教員免許状更新講習・教職大学院科目等に読み替え可能とすることで、大学と受講者のコスト減とインセンティブ強化を図る。

【国として検討・実施すべき内容2】

地域内外の人や資源をつなぐ協働組織（コンソーシアム）の構築・育成

各地域において、県立高校、市町村、中学校、PTA、地域・民間団体、社会教育機関、卒業生会、大学等の多様な主体と協働し、**地域内外の人や資源をつなぐ人材（コーディネーター）とその基盤となる協働組織（高校魅力化コンソーシアム）を育成する。**



【国として検討・実施すべき内容3】

全国をつなぐ中間支援組織（全国コミュニティ）の育成・活用

- 全国各地のコーディネーター及び高校魅力化コンソーシアムを相互につなぎ、**都道府県を跨いで活動する中間支援組織（全国コミュニティ）**の取組を促進する。

【中間支援組織の機能及び役割】

- ・地域間で学びあう全国コミュニティ（オンライン含む）の構築・運営
 - ・全国各地の見えざる知見の研究・蓄積・全国拡散・相互共有
 - ・全国のコーディネーター・コンソーシアムの育成研修・伴走・相談窓口
 - ・コーディネーターの養成・人材バンク機能・マッチング支援
 - ・地域留学のマーケティング・プロモーション・合同イベント・アフターフォロー
 - ・地域外に出た卒業生の関係人口化を促進する機会提供
 - ・KPIを設定し、地域インパクトも見える評価ツールの開発・提供
 - ・各地域のファンドレイジングの共通基盤の構築・提供
- など

